

注3

大学番号：私165

[平成27年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

金城大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金城学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部

職名・氏名 主査・坂 サカ グチ ケン シ
口 憲 二

電話番号 076-276-4400

（夜間） 076-276-4400

F A X 076-275-4316

e-mail sakaguti@kinjo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 管理運営組織	1
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
2	授業科目の概要	5
	(1) 授業科目表	5
	(2) 授業科目数	8
	(3) 未開講科目	9
	(4) 廃止科目	9
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」 及び「学生への周知方法」	9
	(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	9
3	施設・設備の整備状況, 経費	10
4	既設大学等の状況	12
5	教員組織の状況	14
	(1) 担当教員表	14
	(2) 専任教員数	20
	(3) 専任教員辞任等の理由	21
	(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	21
6	留意事項に対する履行状況等	22
7	その他全般的事項	24
	(1) 設置計画変更事項等	24
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	24
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	25
	(4) 情報公表に関する事項	25
	添付資料1	26
	添付資料2	35
	添付資料3	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金城学園

(2) 大学名

金城大学

(3) 大学の位置

〒924-0865
石川県白山市倉光1丁目250番地
(〒924-8511)
(石川県白山市笠間町1200番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ シンイチ) 加藤 真一 (平成25年7月)		
学長	(ハンヤ シズオ) 半谷 静雄 (平成26年4月)		
学部長	(ナガヤマ クニコ) 永山 くに子 (平成27年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	1.16倍	-倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	281	-	-	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	257	-	-	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	206	-	-	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	93	-	-	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.16倍						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) -	[0] (0) 93	[-] (-) -						
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -					
3年次			[-] (-) -						
4年次			[-] (-) -	[-] (-) -					
計			[-] (-) -	[-] (-) 93					

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	- 人	- 人	平成24年度	- 人	- 人		- %
			平成25年度	- 人	- 人		
			平成26年度	- 人	- 人		
			平成27年度	- 人	- 人		
平成25年度 入学者	- 人	- 人	平成25年度	- 人	- 人		- %
			平成26年度	- 人	- 人		
			平成27年度	- 人	- 人		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人		- %
			平成27年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	93 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	93 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	スポーツ	1後	1								兼1	
	スポーツ理論	2前	2								兼1	
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1							兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27)
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1							兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27)
	英語Ⅰ	1前	1								兼 4 ⁵	教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
	英語Ⅱ	1前	1								兼 4 ⁵	教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
	英語Ⅲ	1後	1								兼 4 ⁵	教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
	英語Ⅳ	1後	1								兼 4 ⁵	教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1							兼1	
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1							兼1	
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1							兼1	
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1							兼1	
	医学英語	3前		1							兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	1								兼2	
	情報処理演習Ⅱ	1後		1							兼1	
	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	1	1	1			
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	1	2	4			
小計(17科目)	—	—	10	8	0	2	1	2	4	0	兼 13 ¹⁴	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加。教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
主題科目	ボランティア入門	1前	2								兼1	
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1		1	1		2			
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1				3	1			
	統計学	2後		1							兼1	
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前		2							兼1	
	自然科学Ⅱ(物理系)	1後		2							兼1	
	自然科学Ⅲ(数学系)	1前		2							兼1	
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後		2							兼1	
	自然科学概論	1前		2							兼1	
	環境論	2後		2							兼1	
	白山市の自然と文化	1前		2							兼1	
	社会学	2後		2							兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2							兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後		2							兼1	
	介護福祉論Ⅰ	3前		2							兼1	
	介護福祉論Ⅱ	4後		2							兼1	
	高齢者福祉論	1前		2							兼1	
	障害者福祉論	1後		2							兼1	
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2							兼1	
	法学Ⅱ	2後		2							兼1	
医療関係法	4後		2							兼1		
美術	1後		2							兼1		
日本文学Ⅰ	2前		2							兼1		
日本文学Ⅱ	2後		2							兼1		
日本史Ⅰ	1後		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主題科目	日本史Ⅱ	1後		2							兼1	
	東洋史	2後		2							兼1	
	小計(27科目)	—	2	49	0	1	1	3	2	0	兼15	
専門基本科目	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1						
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1						
	解剖生理学実習	1後	1			1			2			
	栄養代謝学	1前	1			1						
	微生物学	2前	1								兼1	
	人類遺伝・発生学	2前	1			1						
	免疫学	2後	1			1						
	医学概論	1後	1			1						
	病理病態学	1後	2			1						
	診断治療学Ⅰ(内科系)	2前	2								兼1	
	診断治療学Ⅱ(外科系)	2前	1								兼2	オムニバス
	診断治療学Ⅲ(周産期)	2前	1								兼1	
	診断治療学Ⅳ(小児)	2後	1			1						
	診断治療学Ⅴ(精神)	2後	1								兼1	
	臨床栄養学	2前	1								兼1	
	臨床薬理学	2後	2								兼1	
	リハビリテーション概論	1前		1							兼4	教育体制充実の理由により、教員を追加。履修者希望者なしのため未開講(27)
	臨床心理学Ⅰ	2前	1								兼1	
	臨床心理学Ⅱ	2後	1								兼1	
	心理学	1通		4							兼1	
	カウンセリング演習	2後	1								兼1	
	高齢者の心理	4後		2							兼1	
	障害者の心理	4後		2							兼1	
	安全管理	2後	1								兼1	
	感染防御	2後	1								兼1	
	保健医療概論	1前	1			1						
	保健医療制度論	1後	1								兼1	
	社会保障制度論	1後		1							兼1	
	石川県・白山市の保健医療事情	2前	1								兼1	
	看護関係法規	2後	1			1						
	公衆衛生学	1前	2								兼1	
	疫学・保健統計入門	2前	1								兼1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2							兼1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							兼1	
小計(34科目)	—		33	14	0	4	0	0	0	2	兼18	教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
専門展開科目	看護概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	2			1						
	看護倫理	1後	2			1						
	看護情報論	3前		1		1						
	基礎看護学方法論	1後	2			1						
	基礎看護学方法論演習Ⅰ	1後	1			2	1		1		共同	
	基礎看護学方法論演習Ⅱ	2前	1			2		1	1		共同	
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			6	1	2	4	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			8	1	3	4	4		
	成人看護学概論	1後	1			1						
	成人看護論Ⅰ(健康期)	2前	1			1	1				共同	
	成人看護論Ⅱ(急性期)	2前	1			1	1				共同	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 展 開 科 目	成人看護論Ⅲ（回復期）	2前	1			2						共同
	成人看護論Ⅳ（慢性期）	2前	1			2						共同
	成人看護論Ⅴ（終末期）	2前	1			1						共同
	成人看護学演習Ⅰ	2後	1			1			1	1		共同
	成人看護学演習Ⅱ	2後	1				1	1		1		共同
	成人看護学実習Ⅰ	3後	3			2	1	1	1	1		
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3			2	1	1		1	兼 1	
	高齢者看護学概論	2後	1			1						
	高齢者看護論	3前	2			1		1				オムニバス
	高齢者看護学演習	3前	1					2		1		共同
	高齢者看護学実習Ⅰ	3後	2			2		2	1	1		
	高齢者看護学実習Ⅱ	3後	2			2		2	1	1		
	小児看護学概論	2後	1			1						
	小児看護論	3前	2			1			1			オムニバス
	小児看護学演習	3前	1			1			1	1		共同
	小児看護学実習	4前	2			1			1	2		
	母性看護学概論	2後	1			1						
	母性看護論	3前	2			2						オムニバス
	母性看護学演習	3前	1			1			1	1		共同
	母性看護学実習	4前	2			2			1	1		
	精神看護学概論	2後	1			1						
	精神看護論	3前	2			1						
	精神看護学演習	3前	1			1		1		1		共同
	精神看護学実習	4前	2			2		1		1		
	在宅看護学概論	2後	1			1						
	在宅看護論	3前	2			1	1					オムニバス
	在宅看護学演習	3前	1			1	1			1		共同
	在宅看護学実習	4前	2			1	1		1	1		
	統合実習	4通	2			10	2	5	4			
	看護管理論	3前	1			1						
	看護教育論	3前		1		1						
	チーム医療論	2後	1			1						
	チーム医療演習	3前	1			1					兼 2	共同
	地域と看護	2後		1							兼 1	
災害看護論	3前	1								兼 1		
国際看護論	3前	1			1							
看護学研究法	2後	2			3		1				オムニバス	
看護英語	3前		1							兼 1		
卒業研究ゼミⅠ	3通	1			12	2	4					
卒業研究ゼミⅡ	4通	1			12	2	4					
卒業論文	4通	4			12	2	4					
小計（53科目）	—	—	74	4	0	12	2	5	4	5	兼 6	—
合計（131科目）	—	—	119	75	0	14	2	5	4	5	兼 45	担当変更の理由により、教員を削除及び追加。教育体制充実の理由により、教員を追加(27)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 86	科目 45	科目 0	科目 131	科目 86 [0]	科目 45 [0]	科目 0 [0]	科目 131 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金城大学短期大学部と 共用 2,339.40㎡ 借用面積：2,337.26㎡ 借用期間：50年 自治体による道路改良 事業に係る増減のため (27)					
	校舎敷地	2,239.40 -2,337.26 ㎡	84,439.00 -84,538.00 ㎡	0 ㎡	86,678.40 -86,875.26 ㎡						
	運動場用地	0 ㎡	18,379.00 -18,511.00 ㎡	0 ㎡	18,379.00 -18,511.00 ㎡						
	小 計	2,239.40 -2,337.26 ㎡	102,818.00 -103,049.00 ㎡	0 ㎡	105,057.40 -105,386.26 ㎡						
	そ の 他	0 ㎡	8,935.00 -9,197.81 ㎡	1,978.00 ㎡	10,913.00 -11,175.81 ㎡						
	合 計	2,239.40 -2,337.26 ㎡	111,753.00 -112,246.81 ㎡	1,978.00 ㎡	115,970.40 -116,562.07 ㎡						
(2) 校舎	専 用	18,602.44 -18,604.98 ㎡	2,929.48 ㎡	8,911.94 ㎡	30,443.86 -30,446.40 ㎡	金城大学短期大学部と 共用 土地の借用面積： 2,339.40㎡ 2,337.26㎡ 借用期間：50年 建築設計と登記上の面 積の誤差のため (27)					
		18,602.44 (18,604.98 ㎡)	(2,929.48 ㎡)	(8,911.94 ㎡)	30,443.86 -(30,446.40 ㎡)						
(3) 教室等	講 義 室	36 室	演 習 室	21 室	実験実習室	16 室	情報処理学習施設	1 室	語学学習施設	0 室	大学全体 (補助職員 0人) (補助職員 0人)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	看護学部看護学科			23 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	金城大学短期大学部と の共用分を含む全体 図書101,000冊 学術雑誌321種 視聴覚資料1,382点 教育環境の向上等を考 え見直したため (27)			
	看護学部 看護学科	11,079 [1,173] 10,204 [1,035] (10,199 [1,033])	115 [33] (115 [33])	7 [7] (7 [7])	341 343 (341)	3,037 3,244 (3,037)	58 (58)				
	計	11,079 [1,173] 10,204 [1,035] (10,199 [1,033])	115 [33] (115 [33])	7 [7] (7 [7])	341 343 (341)	3,037 3,244 (3,037)	58 (58)				
(6) 図書館	面積	788.23 ㎡	閲覧座席数	244 席	収 納 可 能 冊 数	83,000 冊	金城大学短期大学部と 共用 笠間キャンパス： 673.93㎡、 閲覧席212席 松任キャンパス： 114.30㎡、 閲覧席32席				
(7) 体育館	面積	2,722.39 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要			金城大学短期大学部と 共用					
			テニスコート7面								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費に電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト等を含む）。		
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	17,300千円	2,500千円	1,000千円			
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	5,246 -5,000千円	5,000千円	5,000千円	設備は白山石川医療企業団が購入し、同企業団から無償貸与を受ける。 教育環境の向上等を考 え見直したため (27)			
	学生1人当り納付金	第1年次 1,670千円	第2年次 1,400千円	第3年次 1,450千円	第4年次 1,450千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学経常費補助金収入、資産運用収入等で充当									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金城大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
看護学部看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.16	平成27年度		石川県白山市笠間町1200番地及び 石川県白山市倉光1丁目250番地	平成27年度増設
社会福祉学部社会福祉学科										
社会福祉専攻	4	100	3年次5	410	学士 (社会福祉学)	0.70	平成12年度		石川県白山市笠間町1200番地	
こども専攻	4	50	3年次5	210	学士 (社会福祉学)	1.08	平成19年度		同上	
医療健康学部										
理学療法学科	4	65	—	260	学士 (理学療法学)	1.08	平成19年度		同上	
作業療法学科	4	35	—	140	学士 (作業療法学)	1.10	平成25年度		同上	
大学院リハビリテーション学研究科										
リハビリテーション学専攻	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション学)	1.00	平成27年度		同上	平成27年度新設
大学の名称	金城大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育)	0.97	昭和51年度		石川県白山市笠間町1200番地	
美術学科	2	65	—	130	短期大学士 (美術)	0.90	昭和51年度		同上	
ビジネス実務学科	2	135	—	270	短期大学士 (ビジネス実務)	0.79	昭和59年度		同上	
幼児教育学科専攻科福祉専攻	1	40	—	40		0.17	平成10年度		同上	平成28年度入試より募集停止
留学生別科	1	20	—	20		0.05	平成16年度		同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学長)	ハンヤ シズオ 半谷 静雄	平成27年4月	病理病態学 チーム医療論 チーム医療演習						
専	教授(学部長)	ナガヤマ クニコ 永山 くに子	平成27年4月	看護概論 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学概論 母性看護論※ 母性看護学実習 国際看護論 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	マツシマ アキヒロ 松島 昭廣	平成27年4月	医学概論 診断治療学Ⅳ(小児) 保健医療概論						
専	教授	タカヤマ シゲコ 高山 成子	平成28年4月	看護関係法規 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学概論 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理論 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ハヤシ チカコ 林 稚佳子	平成29年4月	高齢者看護論※ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ヤマモト スミコ 山本 澄子	平成27年4月	看護理論 基礎看護学方法論 演習Ⅰ 基礎看護学方法論 演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護教育論 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	シマダ ケイコ 島田 啓子	平成29年4月	母性看護論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	シンタニ ケイコ 新谷 恵子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 成人看護論Ⅰ(健康期) 成人看護論Ⅱ(急性期) 成人看護論Ⅲ(回復期) 成人看護論Ⅳ(慢性期) 成人看護論Ⅴ(終末期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	フジタ ミツエ 藤田 三恵	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護論Ⅲ(回復期) 成人看護論Ⅳ(慢性期) 成人看護学演習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	イチノヤマ リュウジ 一ノ山 隆司	平成27年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学概論 精神看護論 精神看護学演習 精神看護学実習 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ソガ ヒロユキ 曽我 浩之	平成27年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実習 栄養代謝学 人類遺伝・発生学 免疫学 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ヒコ キヨミ 彦 聖美	平成28年4月	在宅看護学概論 在宅看護論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ヨシオカ カズミ 吉岡 一実	平成27年4月	看護倫理 看護情報論 基礎看護学方法論 基礎看護学方法論 演習Ⅰ 基礎看護学方法論 演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	ヒガイ シゲカ 樋貝 繁香	平成27年4月	ボランティア活動Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論 小児看護学論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	准教授	アサミ ミチエ 浅見 美千江	平成27年4月	在宅看護論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	准教授	ハラ ユキコ 原 元子	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護論Ⅰ(健康期) 成人看護論Ⅱ(急性期) 成人看護学演習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	講師	フジカワ キミエ 藤川 君江	平成27年4月	基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学演習 精神看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	講師	シモダ ユウコ 下田 裕子	平成27年4月	高齢者看護論※ 高齢者看護学演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習						
専	講師	クメ マサヨ 久米 真代	平成28年4月	高齢者看護学演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	講師	アズマ トモヒロ 東 知宏	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学方法論演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	講師	ドウケン ユキコ 道券 夕紀子	平成28年4月	ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	助教	タケダ ヨウコ 武田 陽子	平成27年4月	基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習 統合実習						
専	助教	ノガミ ムツミ 野上 陸美	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ 基礎看護学方法論演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習						
専	助教	サカイ ミサコ 境 美砂子	平成27年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習						
専	助教	カワムラ ミホ 河村 美芳	平成27年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 母性看護学演習 母性看護学実習 統合実習						
兼任	教授	コヤマ ヨシコ 小山 善子	平成28年10月	診断治療学Ⅴ(精神)						
兼任	教授	タカバタケ トシカズ 高島 利一	平成29年4月	医学英語						
兼任	教授	ヒラグチ マリ 平口 真理	平成28年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ						
兼任	教授	コバヤシ チエコ 小林 千恵子	平成29年4月	介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ						
兼任	教授	ソ テツ 蘇 哲	平成28年4月	言葉と文化(中国語)Ⅰ 言葉と文化(中国語)Ⅱ 東洋史						
兼任	教授	オカモリ セイゴ 岡森 正吾	平成27年10月	保健医療制度論						
兼任	教授	カノウ ヒロシ 加納 宏志	平成27年10月	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	スギヤマ マサキ 杉山 正樹	平成29年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ						
兼任	教授	オウダ ヒロキ 奥田 裕紀	平成27年4月	心理学 高齢者の心理 障害者の心理						
兼任	教授	カワベ ヒロユキ 川邊 弘之	平成27年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 自然科学Ⅳ(化学系) 自然科学概論						
兼任	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成27年4月	自然科学Ⅰ(生物系)						
兼任	教授	マツシタ タカノブ 松下 高信	平成27年10月	スポーツ						
兼任	教授	ウチ ケイズイ 内 慶瑞	平成27年4月	ボランティア入門						
兼任	教授	キバヤシ ツトム 木林 勉	平成27年4月	リハビリテーション概論						
兼任	教授	タケコシ アツシ 竹腰 敦	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 言葉と文化(英語) Ⅰ 言葉と文化(英語) Ⅱ						
兼任	准教授	タカシマ チセ 高島 智世	平成28年10月	社会学						
兼任	准教授	モトムラ トモアキ 元村 智明	平成27年4月	社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ						
兼任	講師	キムラ ツヨシ 木村 剛	平成27年4月	情報処理演習Ⅰ 統計学 自然科学Ⅱ(物理系) 自然科学Ⅲ(数学系)						
兼任	講師	ノムラ トモヒロ 野村 智宏	平成27年4月	高齢者福祉論 障害者福祉論						
兼任	助教	オカノ ダイスケ 岡野 大輔	平成27年10月	法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 医療関係法 社会保障制度論						
					兼任	教授	ナラ イサオ 奈良 勲	平成27年4月	リハビリテーション概論	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)
					兼任	教授	サワ シュンジ 澤 俊二	平成27年4月	リハビリテーション概論	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)
					兼任	教授	コウノ ミツノブ 河野 光伸	平成27年4月	リハビリテーション概論	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	カナガワ カツコ 金川 克子	平成28年10月	地域と看護						
兼任	講師	クロカワ タケト 黒川 威人	平成27年10月	美術						
兼任	講師	ツジグチ テカコ 辻口 徹子	平成29年4月	災害看護論						
兼任	講師	ミノワ エミコ 箕輪 恵美子	平成28年10月	カウンセリング演習						
兼任	講師	イナテ シンジ 稲子 信次	平成28年4月	石川県・白山市の保健医療事情						
兼任	講師	ナガノ ケンイチ 長野 賢一	平成28年4月	微生物学						
兼任	講師	アサヒ トシアキ 旭 敏秋	平成28年4月	診断治療学Ⅲ(周産期)						
兼任	講師	ヤギ マサオ 八木 雅夫	平成28年4月	診断治療学Ⅱ(外科系)※ 臨床栄養学						
兼任	講師	クボタ コウジ 久保田 幸次	平成27年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	ウエウマ ヤスオ 上馬 康生	平成27年4月	白山市の自然と文化						
兼任	講師	コバヤシ ヒロミツ 小林 宏充	平成28年10月	安全管理						
兼任	講師	ハタケ ノリコ 島 紀子	平成27年4月	レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ	兼任 講師	シモカワ キミコ 下川 紀美子	平成27年4月	レクリエーション活動Ⅰ	担当者を変更したことにより新たに就任(27)	
					兼任 講師	トシオカ リカ 利岡 理香	平成27年10月	レクリエーション活動Ⅱ	担当者を変更したことにより新たに就任(27)	
兼任	講師	ウラベ タケン ト部 健	平成28年4月	診断治療学Ⅰ(内科系)						
兼任	講師	タカサワ カズヤ 高澤 和也	平成28年10月	臨床薬理学						
兼任	講師	ヨコヤマ クニヒコ 横山 邦彦	平成28年4月	疫学・保健統計入門						
兼任	講師	ミツイ マサエ 三井 昌栄	平成29年10月	成人看護学実習Ⅱ						
兼任	講師	タニ タカシ 谷 卓	平成28年4月	診断治療学Ⅱ(外科系)※ 感染防御						
兼任	講師	ヤマシタ ノブコ 山下 伸子	平成29年4月	チーム医療演習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ハシモト ヨウコ 橋本 陽子	平成29年4月	チーム医療演習						
兼任	講師	ドウカイ サトシ 百海 智	平成28年4月	スポーツ理論						
兼任	講師	ワダ コウイチロウ 和田 康一郎	平成28年4月	日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ						
兼任	講師	カトウ ヒロシ 加藤 博	平成28年10月	環境論						
兼任	講師	ヤマモト タク 山本 卓	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	コハラ ブンエイ 小原 文衛	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	ウカジ マサコ 宇梶 昌子	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 看護英語						
					兼任	講師	テヤタニ アケヒサ 茶谷 丹久	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
14	2	5	4	25	14	2	5	4	25	65	3	-	-
(10)	(2)	(3)	(4)	(19)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	河村 美芳	※

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

※ 個人情報等を含む内容については記載いたしません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>1. 「基礎看護学方法論演習Ⅰ・Ⅱ」では、ベッド30台を備え、80人の学生が一度に学ぶことができる実習室を使用する計画だが、両科目は担当教員が各2名しかおらず、十分な指導を行うことができるか不明瞭である。そのため、十分な質を持った教育が行えるよう、授業の運営方法や担当教員の補充等について検討すること。</p>	留意事項	<p>平成26年度第3回（1月審査）の教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）を提出し、「基礎看護学方法論演習Ⅰ」は山本澄子教授、東知宏講師に加え、吉岡一実教授を科目担当教員とした。また、「基礎看護学方法論演習Ⅱ」は吉岡一実教授、野上睦美助教に加え、山本澄子教授を科目担当教員とした。（27）</p>
<p>設 置 時 (平成27年4月)</p>	<p>2. 一部の演習科目において実施する「問題に基づく学習（PBL：Problem Based Learning）」の実施方法等のうち、以下の点が不明瞭であることから、PBLによる学習の効果が最大限発揮できる方法及び体制となっているか検証を行い、必要であれば計画を修正すること。</p> <p>（1）「小児看護学演習」「母性看護学演習」「精神看護学演習」においては、一つのテーマが1回の授業で完結する小規模なPBLを複数回行う計画であるが、一般的なPBLは一つのテーマを複数回継続的に議論するものであり、PBLの特徴を活かした教育が実現可能かどうか不明瞭である。そのため、適切な効果が得られる授業方法になっているか検証すること。</p>	留意事項	<p>指摘のあった3項目については、3年次前期のPBL関連授業開講までに学部内で授業方法についての検証を行っていく予定である。また、計画の修正が必要な場合は別途、専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）を提出し、対応していく予定である。（27）</p>

<p>設置時 (平成27年4月)</p>	<p>(2) PBLを用いる演習科目の概要説明において、看護技術をPBLの活用によって身につける旨の記述があるが、PBLによってどのように看護技術を修得するのか不明瞭である。そのため、PBLの成果を看護技術の習得に適切につなげることができるか検証すること。</p> <p>(3) 少人数グループによる学習を行うために必要なファシリテーター等の指導者の配置計画が不明瞭であることから、学習を円滑に実施することができるか検証すること。</p>	<p>留意事項</p>		
	<p>3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>		<p>引き続き、定年を超える教育職員の採用（看護学部看護学科）に関する特例の適切な運用に努め、教員組織編成の将来構想については、申請書記載通り着実に実施していく予定である。 (27)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成27年5月)</p>	<p>該当なし</p>			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 企画調査委員会規程及び年次報告（別紙（添付資料1-1、1-2）のとおり）を添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回（委員構成については、別紙（添付資料2）のとおり）</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・ FD研修会の企画・運営 ・ 授業アンケートの運営 ・ 公開授業の運営 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 （企画調査委員会担当の取組） ・ FD研修会（年2～3回程度） ・ 公開授業（教員相互の授業参観） ・ 学生との意見交換会 ・ 授業アンケート ・ オフィスアワー （企画調査委員会以外の取組） ・ 新任教職員研修</p> <p>b 実施方法 既設学部では、FD研修会については、講師を招請し、例年2～3回程度実施。オフィスアワー、公開授業、学生による授業アンケート（非常勤講師を含む。）は、各semester（前・後期）で実施。学生との意見交換会は年1回（学部別）実施している。また、新任教職員研修については、年1回、建学の精神、教育理念、歴史、大学を取り巻く環境等についての研修を行っているため、当該学部においても実施していく予定である。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 既設学部では、FD研修会については、専任教員6～7割が参加。オフィスアワー、学生による授業アンケートについては、全教員（非常勤講師も含む。）の授業を対象に実施している。公開授業についても、全教員（非常勤講師も含む。）を対象として前期の特定期間及び後期の全期間を公開授業期間とし、また、後期には重点期間も設け、教員同士が授業の参観を実施している。学生との意見交換会については、学部・学科ごとに選ばれた学生に参加依頼し、毎年、授業面や福利厚生面等に係る意見交換を行っている。また、新任教職員研修については、毎年、新任の教職員を対象に年度当初に実施しているため、当該学部においても実施していく予定である。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

既設学部では、学生による授業アンケートについては、学内ホームページによる結果公開を行っている。また、公開授業については、参観者の増加及び参観者コメントの利用促進を図り、授業改善につなげている。平成26年度FD研修では、平成25年度からの中央教育審議会の答申等も踏まえ、授業改善に直接役立つ方法や学習支援方策等に関する研修会を開き、各教員が個々の授業、学生支援に活かしてきており、また、更にマクロレベル（管理者・組織レベル＝教育理念、学園の方針、制度政策や社会情勢）とマイクロレベル（教員個人レベル、授業・教授法レベル）をバランスよく取り入れ実施することができた。引き続き、学生との意見交換の結果を踏まえ、学長、学部長、企画調査委員会が主導して授業改善、学生指導等に係る取組の改善を継続して実施していくなどして、継続した組織的な教員の質的向上を図っているため、当該学部においても実施していく予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

上記にも記載した通り、学生による授業アンケートについては、毎年、前期（7月）、後期（1月）に実施（非常勤講師を含む。）しているため、当該学部においても実施していく予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記にも記載した通り、授業アンケートの結果について、教職員に対しては教授会での全体報告に加え、教員個人向けの結果通知も行い、今後の授業改善等に役立つよう周知、活用している。また、学生等に対しては、学内ホームページを通じて随時結果を閲覧、意見等を述べられるよう体制を整備しているため、当該学部においても実施していく予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙（添付資料3）のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年6月

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、近隣の大学を中心とした高等教育機関及び希望のある利害関係者に配付予定
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・1回目の認証評価は、平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構を受審しており、2回目の認証評価は、平成27年度に同機構より受審する。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (年 月 日) ※平成27年度中を予定